

### 第3回府中市民協働まつり

府中市では11月を市民協働推進月間として、市内で活動している様々な団体や全ての人たちが、地域の課題解決のために、連携・協力して「みんなで創る 笑顔あふれる 住みよいまち」の実現に向けての、まちづくり活動の定着を進めています。

今年(11月25日(土)と26日(日))にル・シーニュの5・6階の市民活動センターのプラッツを会場として、「第3回府中市民協働まつり」が開催されました。シルバー人材センターも出展団体として参加し、広報コーナーと小物班の展示即売コーナーで、ご来場のお客様に対応しました。

初日の25日は参加団体が早朝から準備などで忙しく動いていました。開始時間の10時の15分前に開会式も行われ、関係者や参加団体の挨拶がありました。ご来場の多くの家族連れや様々のグループは、展示や説明やイベントコーナーや喫茶コーナーなどを、お好みにより巡回されました。

我々シルバー人材センターの



コーナーでは新規入会についての説明や、お手伝いサービスの具体的な内容の説明をしました。小物班のコーナーでは並べられた手作りの品物を手に取り、気に入った品物をお買い上げ頂きました。心配された天気は二日間ともに良く、お客様は新しい建物(ル・シーニュ)内の会場を回り、関心のあつたコーナーに足を止めて楽しい一時を過ごして頂きました。

### 働く会員の職場訪問 小物班

今回の職場訪問は、女性会員が手芸品を作って楽しむ職群班として活動し、商まつりやシルバーフェア等のイベントに小物を販売している小物班を訪問しました。会を主宰しておられる山口副会長からお話を伺いました。

当班は約10年前に立ち上げ(第一期)、途中の一時期活動を停止しましたが、第一期のメンバーが活動停止を惜しみ、平成29年4月に新たに参加したメンバーと16名で再始動をしてシルバーフェアに出店できるようになりました。

主な作品は、アクリルたわし、お手玉の他、つるし雛をモチーフにしたクリスマス飾り、正月飾り等を作り、市民協働まつりに出展し好評を得ております。現在では、数十種類の作品レパートリーがあります。各フェアへの出展での売上は、事務費を除き、会員に還元されていますが、材料費は、各会員が負担しておりますので、コストパフォーマンスは、さほど良いとは言えません。しかし、当



班の目的は、あくまでも会員同士が和気あいあいと、色々な技術を共有して、製品作りに生かしてゆく事で、健康で、楽しく作業できる環境をみんなで創っています。今後の抱負は、季節や、時節に合った物を研究し、作成することです。その為に創意工夫し、アイデアを考える等、更に手先を使うことで脳の活性化がはかれるものと思っています。